

食をみる を通して みる

平成29年度 課題発見ゼミナール
内藤直樹(文化人類学)

-食- 「自然」と「文化」の接点

- 生のもの
- 「食べもの」は、ヒトが生物として「生存」するために必要なモノ（食の生物学的側面）であると同時に、人間として「よく生きる」ために必要なモノ（食の文化的側面）でもある。
 - 人間の生物学的側面と文化的側面を総合的に検討する（総合科学）うえで良い材料
- 火を通じたもの 腐ったもの

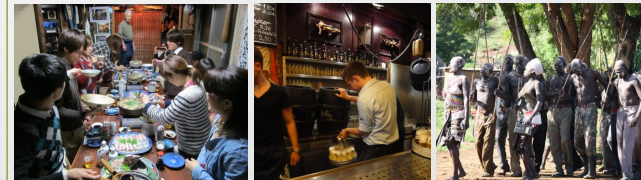
食の日常性と非日常性

- 身近な（毎日食べる）モノであると同時に、非日常的なモノ（豪華な食事や旅行先でのエキゾチックな食事）でもある。



食とアイデンティティ

- 郷土料理や各国料理あるいはハラルフードのように集団のアイデンティティに深く関わっていることがある。他方で、個人の身体観にも深く関わっている（美容・健康）。



誰と食べるか？

- 人間は家族や仲間と食料を調達し、食べている。分かち合いの文化や制度をもつ社会もあれば、孤食が問題になっている社会もある。



食をめぐる社会問題

- ある場所では食べものの量に関する社会問題（貧困・飢餓）が起こっている。別の場所では食べ物の質に関する社会問題が起こっている（食の安全・安心）。



おいしい

食のフィールドワークに出よう！

- 食というレンズを通して、人間の社会・文化・歴史・経済について調べ、考えてみよう！
- 食の欠乏・過剰**
 - 途上国の飢餓・人道支援、先進国の貧困・肥満・摂食障害
- 食のイメージ**
 - 郷土食・各国料理やそれを活かした観光・地域づくり・商品化…
- 食の生産（農業・漁業・狩猟等）と流通**
 - 6次産業化、市場、フェアトレード
- 食のつながり**
 - 安心・安全な食を求める運動、子ども食堂、フードバンク
- 日本の事例でも、海外の事例でも良い！

たとえば…

授業のすすめ方

- 夏休み前**
 - 研究テーマの決め方講座、食の世界的エトセトラ
 - 受講生の関心をもとに4-5グループを編成して、研究テーマを決定
- 夏休み中**
 - グループ研究の準備
- 後期**
 - グループごとに文献講読・フィールドワーク・まとめ・成果発表

